



天理市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地では猛暑や豪雨など温暖化が原因とみられる異常気象による災害が増加しており、「気候危機」という状況にあります。本市もその例外ではなく、日本各地でこれまで経験したことのない豪雨や台風による甚大な被害が発生しています。こうした被害から人々の生命・財産・社会インフラ・自然生態系などを守ることが求められています。

そのような中、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては「平均気温上昇を1.5℃に抑えるには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする必要がある」ということが示されました。

本市においても、大和青垣に囲まれた歴史・文化・自然環境を守り、環境との調和を図った持続可能な形で将来世代に継承できるよう、市民・民間事業者・行政等がオール天理となって取り組んでいるところです。その取組の継続は、このまちに住むことの付加価値を高め、天理で暮らす豊かさにつながるものであり、将来世代へ果たす責任ともいえます。

これからも、国際社会の一員として目指す方向を一にし、さらに地球温暖化対策意識を高め、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

2021年3月2日

天理市長